

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・遷宮を間近に控え、マスコミが当地を頻繁に取り上げることもあり、観光に関わる事業は軒並み好調である。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・10月の遷宮に向けて関連行事に参加する人やパワースポットを目当てに集まる人等、人の波が絶えない。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・アベノミクス効果や株高利益などによる好景況感で、客単価が上がっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量がもともと見込んでいたよりも少し良い。
	やや良く なっている	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・高額商品の動きが引き続き良く単価も上昇している。海外ブランド品は値上げ前の特需もあって購入率も高く、ここ数か月みられる好調な流れが続いている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・ボーナス需要も感じられ、ブライダル商品の単価が上昇傾向にある。競合他店でも、ブライダル商品は好調な様子である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・宝飾品や海外ブランドなど的高額品の動きが引き続き堅調であり、加えて衣料品や雑貨などにも消費マインドの上昇が波及し、全体を押し上げているように感じられる。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・ここ数か月、高額品や耐久消費財の動きが良くなってきている。消費税増税に対する意識が徐々に高まってきており、今のうちに長く使用できるものを購入しようというニーズが強まっている。従来は一部の高額所得者のみでの動きであったが、最近幅広い顧客層にまで、そうした動きが広がってきている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・量販店のセールには客が多く集まり良く売れている。上場会社のボーナスは良いようで高額商品が売れている。輸出は円安効果で徐々に伸びており、雇用も増えて失業率は下がっている。デフレギャップが縮小しデフレスパイラルが解消されつつあるのは、十数年ぶりである。一方で、円安に伴って電気、ガス、油や輸入原材料が値上がりしており、サラリーマン世帯では小遣いが少なくなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ギフト関係が若干持ち直してきている。通常の生活にも少し余裕が出てきたようにみえる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・小麦粉、ツナ缶、油や食パンなどは、値上げ前に少しでも買い得な価格で客にサービスしようと特売を続けている。近隣周辺の他社では、既に値上がりしている品目もあり、より買い得感を与えられるようになっており、売上増加の要因になっている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・夏物の家庭雑貨や家庭用電化製品が良く売れている。
		スーパー（営業企画）	単価の動き	・こだわりのあるメニュー提案に対する客の反応や、アップグレードな店舗での業績数値が上向いてきている。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・依然厳しさが残るが、前年に比べて雨が少なく気温が高い日が多かったことを反映して前年比を上回る日が増えてきている。飲料系の商品を中心とした食品や衣料が好調である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・好天に恵まれたこともあり、カウンター販売の淹れたてコーヒーや冷麺がよく売れてきている。また、5月末から15品目で値下げした生活必需品の販売も伸長している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・暑さの影響もあってエアコンが好調で売行きが良く、前年同期比2けた以上の伸びで更新中である。この調子で梅雨明け後に暑さが本格化すれば、夏の商戦は乗り切れそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客との話では給与が上がったという話はなく、景気が上向いているという実感はない。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型車が発売され、来客数は増加している。しかし、まだ売上にはつながっていない。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税の増税を前提に、新築住宅、マンションやリフォーム工事が増加し、注引量が増えている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・商品単価が少し高くても、機能重視の商品選びをする客が増えてきている。

	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・雰囲気として、全体的に良い流れになっている感じがする。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数は3か月前に比べて7～8%良くなっている。昼食・夕食は前年並みで、さらに良くなっているとはいえない。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客の様子が明るい感じにみえる。この先、夏に向けても旅行需要が増える感じがする。
	タクシー運転手	単価の動き	・タクシー利用客自体はあまり変化がないが、6月後半から夜の繁華街では、株主総会関連の企業関係者と思われる長距離利用者が増えている。
	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・汗をかく時期になると、今まで月1回のお手入れであった客も2回に増え、来店数が増える。また、紫外線対策商品も出る。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客のなかではボーナス等の臨時収入を得る方が増えてきて、レジャーや買物をする人が出てきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税の増税や建物の値上がり等で、駆け込みで購入している様子が見られる。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・株価・円安の流れから4～5月の販売状況は良かったが、6月は株価・為替相場の乱高下もあり、慎重になる人もいる。しかし、消費税増税が近づいているので販売状況に大きな変化なく、このまま緩やかな上昇が続く。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	お客様の様子	・広告を出した物件への問い合わせや契約数が伸びている。価格交渉も多いが購入意欲の高い客が増えている。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・このところ変化はない。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・株の乱高下など色々と不安定さを感じ、非常に景気が悪い。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・お中元セールの出足は前年並みである。景況感は良好と予想していたが、予想ほどは盛り上がっていない。アベノミクスの効果はどこへ行った。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は横ばいで、動きは鈍い。葬儀に関しては、家族葬が多くなり供花の数が減っている。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・アベノミクスで景気が上向くことを期待していたが期待外れである。どこの店長からもなぜこんなに悪いのだろうかという愚痴が多く聞かれる。安売り広告やマスコミの安売り報道に客は右往左往しているだけで、購買意欲がない。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・飲食店での支出にはメリハリがあり、客の財布のひもは固い。衝動的な金遣いは見受けられない。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・この時期にしては来客数も順調で商品の動きも良いが、買方は慎重であって物足りなさを感じる。今月の実績は前年同期を若干上回る見込みである。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・今月はお中元の早期売出しを行っているが、例年のような盛り上がりはない。早い時期から安い商品に客が先走ることはない。客は自らにセーブをかけ、分をわきまえた行動をとっている。大きく期待することもできないため、様子を見ている状況である。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・お中元は早期受注で客数が前年より多いが、件数や単価の減少で前年とあまり変わらない。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・前年同月に比べて全体的に動きが鈍い。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・商品アイテムごとにバラツキがあるが、売上の総額は、3か月前と同様、前年同期を1～2%上回る水準で推移している。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・宝飾品等の高額商品に多少の動きはあるものの、都心部と比べると大きな伸びがない。お中元商戦がスタートしたが、前年比横ばいで推移している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年比で微減であるが、それ以上に売上が落ち込んでいる。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比98%前後で推移しており上昇する兆しが無い。買上点数は変わらないが、1品あたり単価が低迷している。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・梅が店頭に並んで売上が上昇し、天候良好のおかげで客足もスムーズであった。

スーパー（営業担当）	お客様の様子	・買物かごの中には、まだ以前のように多くはない。安いものを選んで購入している。
コンビニ（企画担当）	それ以外	・認識として、数字でみた実態はもともと良くなく雰囲気的に良くなるであろうという状況が続いている。しかし、ここにきて政策の中身が金融関連（資金）だけで、経済の活性化（規制緩和）策としては尻つぼみのようで、実態経済の好転にまでは波及しないという雰囲気になってきている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗の売上は、回復傾向にはあるもののまだ前年をクリアしていない。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は前年比で2%程度改善してきているが、単価の前年比は3か月前と比較して低下傾向である。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・雨と気温の低さのせいもあって来客数は思ったほど伸びていない。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数を前年同期と比較すると、3か月前よりもわずかに減っている。特に深夜の来客数が減っている。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・商品の動きが止まっている。客の購買意欲が元に戻っている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・以前と比べて予算が上がってきており商品が良ければ高くても売れる。しかし必要なものしか売れないので全体としては変化がない。
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・特に変わったところはないが最近になっても値段を抑えたい客がまだ多い。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・会社全体の自動車販売台数は、ここ2～3か月落ち込んでおり、前年同期と比較しても減少という厳しい現状である。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・単価の動きは高い水準となっており、販売量も悪くなく、3か月前と比べると最近が良い。
高級レストラン（役員）	来客数の動き	・既存店の来客数は、曜日変動の要素を差し引いても前年同月比で横ばいから若干弱含みとなっている。イベントに対する集客効果も弱い状況が続いている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・早いところではボーナスが出て少し巻き返してはきているが、前年を上回るには至っていない。売上の面ではアベノミクスの効果は一段落の感があり、目みえの効果は表れていない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・景気回復への期待が大きいがゆえに、実績が充分には伴っていない。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊需要は、5月には良かったものの6月に入って低迷しており、7月以降の予約も弱い。また、宴会需要も夏の予約の入りが悪い。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・客の予約状況は3か月前と変わっていない。消費税増税の結論が出るまでは不透明な状況である。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・輸出型企業は円安で恩恵を受けているようにみえるが、輸入型企業や自動車産業のなかでも下請企業では、あまり恩恵を受けている様子がない。給料日には確かに駅前には若者が賑わっているが、かつての勢いは望むべくもない。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・夏休みの予約はまばらであるが、7月以降にもまだ予約の見込みは期待が持てる。また、早くも秋以降の予約が入ってきている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行は、近隣アジアへの渡航が伸び悩んでいる。中国は鳥インフルエンザやPM2.5、尖閣諸島問題でほとんど旅行者はいない。韓国も例年に比べると大きく減少している。一方、国内旅行は日帰り旅行を中心にますます申込がある。しばらくはこの状態が続く。
タクシー運転手	来客数の動き	・新聞、テレビでは景気は良くなったといっているが、客からは変わっていないという声が多い。良くなったという人もいるが、それは一部である。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は梅雨入りしてから天気も安定していたため、日ごとの上下変動はなかった。6月26日は、雨天と株主総会等が重なって終日忙しかった。また、毎週金曜日は、客数が増えているように感じる。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・ここ数か月、新規契約者が堅調に増加し、解約者も前年同時期よりも低いレベルで推移しており、回復基調とみているが、今月は少し足踏み状態のようである。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・客数の伸びは若干上向いているが、売上高としては今ひとつという状況で、変化はあまり感じられない。

	観光名所（案内係）	お客様の様子	・若者は元気になってきているが、高齢者がお金を使っていない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月も好調である。入場者数、売上共に予算を上回っている。ここ数か月だけみれば、天候にも恵まれてはいるが、景気は良くなったと感じられる。
	その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・安いランクの席から売れる公演が多い。
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・景気の良い話は聞かない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・耐震補強工事や賃貸住宅に対する助成金等の利用で自己負担分が少なくなることで、リフォーム等への意欲が増えてきている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量にはあまり変化はみられず、横ばい状態である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が下がり千円以下の商品の割合が上がっている。来客数は、全体的にほぼ横ばいで推移しており、販売量と売上は減少となっている。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	お客様の様子	・低価格志向や世代の交代、購買方法の変化など小売店を取り巻く環境が変わってきている。消費者の収入が増えない限り購買意欲は出てこない。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・夏のボーナスに期待していたが、いつもの月に比べても良くない。一番の原因は、男性客の購買単価が悪すぎることである。今月はそれが顕著に現れている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日の来客数が減っており、昼間は暇である。夕方は会社帰りの客が来店するが、購入する人はあまりいない。平日の売上が悪くなっている。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・大手の競合店が増えて客数が減り、厳しくなっている。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・近郊に大型商業施設が開店し、衣料品が大きく影響を受けている。売上高は、前年同期比95%と相変わらず低迷している。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・雨が少なかったものの蒸し暑い日も少なく、アイスクリームやソフトドリンクの売上が振るわない。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ボーナス時期でバーゲンの下見とみられる一見客は来店するが、非常にシビアであり、3,4枚試着をしても何もいわずに帰るような客が多い。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・財布のひもは固く、株価も下がり気分的に落ち込んでいる。このことがお金の使い方を堅実にしている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・先月に比べればまだ動きはあるが、3か月前と比べると動きは鈍い。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今までに比べて、景気がこれから良くなるのではという期待感が弱くなってきている。まだ景気が良くなったという実感を話される客はあまりなく、財布のひもはなかなか緩まない。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・最近の客との会話では「燃費の良い車」が合言葉のように出てきて、車の維持がかなり負担になっていることを裏付けている。一方、景気の良い業種の客は、好みの車を複数台乗り回すのを見ると二極化してきていると感じる。ここしばらくは販売台数も落ち込み、全体としては客の様子からは明るさを感じられない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比べると、明らかに客の購買意欲が落ちている。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・まだまだ買物には慎重で、財布のひもが緩んだ感じはなく横ばいである。景気の回復には時間がかかる。
	一般レストラン（経営者）	それ以外	・当店で扱う洋酒等では仕入れ単価が上がってきている。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サービス業の求人倍率が高くなっているが、サービス業を希望する人が少なく求人にも苦戦している。
	観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・前年同月は一般宴会の利用が非常に高かったため本年度もそのように期待をしたが、結果的には例年並みとなりそうである。宿泊は、ここまですべて順調に前年同月比と予算をクリアしてきたが、ここにきて予算を割りそうである。来客数割れは単価で補わなければならないが、競争激化のなかではとても難しい。3か月前よりは悪い傾向にある。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・4月以降、販売量はまずまずであったが、6月に入ってその傾向に陰りが見え始めてきている。大口の見積が減ってきたと感じている。夏休みの旅行の動きも悪い。	

		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けは海外旅行の申込が多かったが、6月になって夏休みの申込が滞っている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・電話がかかってくる件数は多いが、新規の申込は減少している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・月間販売による設備の使用量が減少傾向にある。
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・まだまだ地方では、景気の良い話はない。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・蒸し暑くなつて本来は忙しくなる時期であるが、客が来ない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・やはり不景気である。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・営業を開始して以来、売上金額、件数ともに過去最低を記録している。この成績が続くと、経営が立ち行かなくなってしまうほど酷い状態である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・3～5月初めは、景気が回復しつつあるかと思つたが、5月末から来客数が極端に少なくなるなど、悪くなっている。客単価も低いままで、販売量、販売高の増加につなげていない。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが悪い。
		美容室（経営者）	それ以外	・暑くなつてきているせいで、客が少なくなっている。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず安いお店へ客が流れる。余分なお金は使わない。
企業動向関連 (東海)	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月から来月にかけて、当社のオリジナル商品の販売量が増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・中部地区での輸出・輸入のいずれにおいても、エクスプレス（航空）貨物量が増加している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の到着量が117%と非常に伸びている。発送量も伸び始めている。
	やや良くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注、販売とも前年を上回り、先行きに対する期待感から物量は増えているように感じられる。実際の消費につながるかどうかは、夏季ボーナスの支給後の動きを注目したい。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・富裕層や投資で利益を上げた人に限られるかもしれないが、車や時計等の高級品の販売が上向きで、財布のひもが少し緩んでいると感じる。
		化学工業（総務秘書）	取引先の様子	・取引先の会話のなかでは後ろ向きの話は聞かない。景気は気持ちで作られている部分が大きい、現政権の経済政策への期待感が、都議選の結果にも表れている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・4月からの受注量が1～3月の平均受注量と比較して1.5倍ほど多い状態が続いている。3月までは値引き商品だけが売れていたが、4月からはほとんど定価で受注している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・米国での売上が伸びており部品の調達に苦労している。その他の地域も多少のブレはあるもの、全体としてほぼ計画を達成している。
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・放送通信関連（ケーブルテレビ事業）での設備投資が増えつつある。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の生産計画が上昇してきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産開発業ではマンション、戸建共に順調な売行きである。ただし、建築費がジワジワと上昇している。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築関係からの引き合いが増加している。また日用雑貨の荷動きも良くなつてきている。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年との比較で売上の状況をみると、前年は前年比プラス3.3%、今年は同じく1.5%のプラスと増加具合は1.8ポイント低下しているが、3か月前と比べると増えている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業では少し先の見通しが立ち、生産も増えていく傾向にある。景気として上向きの流れであるとの従業員の声を耳にしている。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先である自動車部品メーカーの稼働率が上がっている。
		不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・工事コスト高騰の影響が大きく、新規事業を行うことが厳しい状況である。

	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・開発案件が増えてきており、事務所の紹介案件が成約に至っている。
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・就職内定率が上がっている。また複数内定の学生も増えている。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・6月に入って自動車関連の取引先からのIT開発案件数が活発になっている。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・アベノミクスの効果が感じられず、受注量、販売量とも思ったほどは増加しない。景気は変わらない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アベノミクスの効果は、地方の景気には反映されていない。
	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・同業他社のなかには、受注量が非常に落ち込みリーマンショックの頃よりも少ないところもある。全体に受注件数は変わらないが、1件当たりの数量が少なくなっている。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに最悪の状況よりは良くなったと思うが、前年の販売量、受注量を10%ほど下回る状況が続いている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安効果も一服し、特に数字が上がることもなくなった。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2013年度に変わっても、売上の増減が全くみられない。下げ止まり感はあり、横ばい状態が続いているが、今後どちらに動くかは不透明である。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安に乗じてもっと数量が出るかと思っただけは出していない。
	建設業（営業担当）	競争相手の様子	・家が建てば仕事としては潤うが、検査項目が増えており、人件費などのコストや労働時間が増える。仕事が増えてもコストが増えるため、あまり変わらない。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・深夜の時間帯に電車に乗ると、随分多くの人が夜遅くまで働いていることが分かる。以前は、飲んだ帰りの人が多かった。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・円安、株高の好影響は一部にしかなく、実感が湧かない。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・前年末より株高、円安が進んできたが、現在は調整局面にある。景気自体は変わらないと思うが、前年から大幅に儲けたと思われる個人投資家の動きは止まっている。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売り物件は表面化はしていないが、確実に売買は行われている。金融機関からの融資実績は以前と変わらない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・景気が上向きのようにいわれているが、実際には受注等の引き合いは少なく実感できない。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・高額物件には買いが入っているが、庶民が購入する不動産には地価上昇の影響が及んでおらず、横ばいである。
	公認会計士	それ以外	・アベノミクスで、景気に関する雰囲気は良いが、会計事務所の客の収益性は依然として厳しい。また、中小企業の収益性は、原材料高騰により悪化する傾向にある。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・建築資材の卸売会社は、売上が激減している。一方、家具の修理会社は、近年になく忙しい。業種によって明暗が分かれていて、全体として景気が向かっている方向を示すのは難しい。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・株価の下落で国内では動揺がみられるが、以前のような暗さはない。外注先においては、前年の方が利益が出たといっている。
	やや悪くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
金属製品製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・今年度を見越した足元の物件の動きがみえない。仕事量の確保に不安が残るとい同業者の声もよく聞く。
輸送業（従業員）		受注量や販売量の動き	・3か月前には前年に比べ輸送量は顕著に増加していたが、6月はほぼ前年並みに落ち着いてしまって、勢いがなくなっている。

	新聞販売店〔広告〕(店主)	受注量や販売量の動き	・折込広告では食品・衣料・家電の落ち込みが目立ち、7%近く減少している。	
	会計事務所(職員)	取引先の様子	・最近の為替や株式市場の乱高下に困惑している。経済的な安定感がないと企業は動きにくく、設備投資も一時様子見が出ている。	
	その他サービス業〔広告印刷〕(従業員)	受注量や販売量の動き	・景気が良くなりかけた気がしていたが、結局しりすばみとなった感じである。	
	悪くなっている	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・販売量が減少している。
雇用関連	良くなっている	—	—	
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社(経営企画)	求職者数の動き	・即戦力エンジニアの獲得競争では激しく苦戦しており、当社の視点に立てば景気が良いとはいえないものの、需給バランスが需要強に傾いていることから顧客企業の開発活動は活発で、景気は回復に動いている。
		人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・派遣社員を自社の直接雇用の社員として採用する企業が増えている。
		人材派遣会社(営業担当)	周辺企業の様子	・円安、株価上昇など、リーマンショック以降の景気回復の方向感、前月比では上向きと感じる。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	雇用形態の様子	・車種にもよるが自動車の販売目標台数が上方修正となっている。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・前年同期と比べて、正社員の求人が増加している。
		職業安定所(職員)	採用者数の動き	・新規求人数が増加し、新規求職者数が減少する状況で就職件数を維持できていることから、就職率からみて状況の改善につながっている。
		民間職業紹介機関(営業担当)	雇用形態の様子	・求人数及び派遣受注は、少しずつではあるが増加傾向で推移している。また、様々な製造業内や主要道路等の生活圏においても物流業の活性化が伺え、景気回復感が若干感じられる。
変わらない		人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・名古屋、東京、大阪では求人が出てきているが、求職者とマッチングしない状況が続いている。
		人材派遣会社(支店長)	求人数の動き	・求人数は、3か月前に比べて105%とプラスであり、前年同期に比べると95%の状況である。
		人材派遣会社(営業担当)	それ以外	・日経平均株価が安定していない。
		新聞社〔求人広告〕(営業担当)	雇用形態の様子	・当地は有効求人倍率が全国2位であるが、大都市圏の傾向として正社員の比率は半分程度で非正規職員やアルバイトが多い。内容的には求職者が求める求人は限定的といえるため、厳しいとの声が多い。
		新聞社〔求人広告〕(営業担当)	求人数の動き	・有効求人倍率は、地域格差があるものの上向き傾向にある。しかし、正社員の求人は減少傾向で依然厳しい状況にある。また、新卒採用も先行きの不安から慎重な企業が多い。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数はこれまでと同水準であるが、建設業で若干増加してきている。一方、製造業での求人増加はまだみられない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・派遣・請負事業者での求人増加で新規求人数は5%増加している。また、消費税増税の関係の駆け込み需要で、住宅メーカーの求人が増加している。
		民間職業紹介機関(営業担当)	周辺企業の様子	・採用を手控えていた企業が中途採用を再開するケースが増えてきているが、その動きはまだ一部に留まっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・3か月前が良すぎたので、それに比べると悪くなっている。例年に比べてもあまり良くない。
	悪くなっている	—	—	